

「TOEIC®テスト」受験のためのサクセスガイド： Tips and Techniques

樟蔭学園英語教育センター 中 郁子

現在、経済のグローバル化に伴い、多くの企業が国際的に活躍できる人材を求めており、社員のTOEICスコアに大きな関心を寄せています。財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会の「上場企業における英語活用実態調査2011」報告書に、採用時に「TOEICスコアを77.7%の企業が参考にしてている」とあります。

私は10年前にTOEICを受験し始め、現在900点以上のスコアを取得しています。また、一定基準の得点を得ることで英語力として評価され、就職・転職の際、自分のTOEICスコアに救われた経験があります。

この文章の目的は、TOEIC受験者、特に英検2級合格者でTOEIC受験を控えている人が英語その物の勉強に集中できるように、私がこれまで工夫を重ねながら勉強してきたスコアアップに繋がったと思うTOEIC受験のコツを紹介することです。

※ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

1. テスト対策のコツ

TOEICには直聴（読）直解の「英語→英語」の回路が必要不可欠です。TOEICの問題パターンや仕組みに慣れるためにも、時間を計りながら公式問題集を何度も繰り返し解くことがハイスコア取得への近道です。

○リスニング

CDを用いて各パートのトランスクリプトを音読（シャドーイング）しましょう。特に短期間で成果を上げたい人は、この練習を継続しリスニングを得意分野に出来るかどうかで結果は大きく変わってくると思います。

パート2は、練習すればするほど正答率が上がりやすいパートです。文頭にくる疑問詞とそれに対応する返答を聴き取る練習を徹底的にしましょう。

パート3、4は3問ずつ解答しなければならないので、事前に設問をある

程度把握している方が聴き取るポイントが絞れます。設問は一度で意味を掴めるように読み取る練習が必要です。

○文法

高校2年生までの文法を徹底的に復習するだけで十分です。ただ実際のテストは、その文法がビジネス関係の長くて複雑な文中で使用されるので、解答するのに時間がかかります。問題のパターンを知り、各問題をサクッと解けるまで練習を積み重ねましょう。

○語彙

文法は得意なのに公式問題集でパート5の点数が今ひとつの人は、語彙力不足かもしれません。TOEICでは英単語を日本語に置き換えるのではなく、実践的なビジネス英文の中で正しく使う力が問われています。英単語は必ず例文の中で覚えましょう。単語の意味をひたすら暗記するという方法はお薦めできません。

○リーディング

TOEICのリーディングは読解力というより、読み物から必要な情報を読み取る Reading for Information です。英文の内容は、社内文書、説明書、書評、新聞記事、アンケート調査、報告書など様々な種類があります。読むスピードを上げてスコアアップするには、普段から英文で書かれたこれらの読み物に慣れておきましょう。

2. テスト中に使えるテクニック

900点を超える人でも最後まで余裕を持って解ききる人はあまり多くないように思います。TOEICは正答率を高めながら時間内に解き終えることが大切なテストです。ここでは、解答時間を短縮できるテクニックを紹介します。

(1) リスニングセクション(45分間)

リスニングでよくある悩みは、「微妙な発音が聴き取れない」(パート1/2)「長すぎて途中で訳がわからなくなる」(パート3/4)です。

パート	パート名	問題数
1	写真描写問題	10
2	応答問題	30
3	会話問題	30
4	説明文問題	30

○ PART 1

リスニングテストの説明と Directions の約 1 分 40 秒を無駄にしないようにしましょう。写真描写問題は、進行形が非常によく使われます。写真の動作と選択肢の動詞が一致しているかどうかには焦点を絞って聴き取ると正答率が上がります。

○ PART 2

問題用紙に問題が書かれていないため、設問も選択肢も聴き取らなければなりません。このパートだけは 3 択ですが、最も集中力を保つのが難しいパートです。Directions の約 1 分間にパート 1 の緊張を解き放ち、とりあえず落ち着きましょう。(このタイミングを逃すとテストが終わるまで息つく暇はありません。) 応答問題では、設問に出てきた単語と同じ (似た) 単語が含まれる選択肢や、疑問詞で始まる質問に Yes/No で答えている選択肢に引っ掛からないようにしましょう。消去法でも十分対応できます。

○ PART 3

Directions (約 30 秒) が流れている間に、問題 4 1 ~ 4 3 を読み込みましょう。余裕がある場合は、問題 4 4 ~ 4 6 を読みたくなるかもしれませんが、ここは問題 4 1 ~ 4 3 に集中することをお勧めします。

○ PART 4

パート 3 と同様に、Directions (約 30 秒) が流れている間に、問題 7 1 ~ 7 3 をしっかりと読み込みましょう。

重要なのは、ナレーターが話し始める前に設問を先読みすることです。予め設問を読み込んでおくことで聴き取るポイントが絞られ早く解答できるはずです。さらに、次の問題の設問も予め読み込み備えることで、最後までテンポよく自信を持って解答できます。

(2) リーディングセクション (75 分間)

リーディングでよくある悩みは「リスニングで疲れてしまって、集中が途切れる」(パート 5 / 6)「問題数が多すぎて最後までいけない」(パート 7) です。

パート	パート名	問題数
5	短文穴埋め問題	40
6	長文穴埋め問題	12
7	読解問題	
	・1つの文書	28
	・2つの文書	20

○ PART 5 (理想的な解答時間は1問28秒～30秒)

文法問題のカギは選択肢です。選択肢 (A) (B) (C) (D) を見て、その問題が文法問題なのか語彙問題なのかを判断しましょう。慣れてくれば、選択肢を見ただけで、空所の前後の語群と選択肢で解ける問題か、読む範囲を広げて解く問題か区別できるようになります。

○ PART 6 (理想的な解答時間は1問28秒～30秒)

パート6は最初から読みながら進めていきましょう。パート5のように空所の前後を見るだけで解答してしまうと、正解しているのかどうか不安になり、必要以上に時間がかかってしまうことがよくあります。

○ PART 7 (理想的な解答時間は1問1分)

設問を先に理解しパッセージを読み進めます。What is indicated ~? What is NOT indicated ~? のようなタイプの設問は注意して解答しましょう。

(3) 問題用紙とマークシートの取り扱い方

問題用紙から解答用紙へと視線を移しているとズレが生じ、現在解いている問題や解答欄を探すことになってしまうことが度々あります。右利きの私は、山折した問題用紙を右に解答用紙を左に置き、マークするとき右手を左手に近づけます。左手の人差し指は解答用紙の現在解いている問題番号を指し、そして右手のシャープンの先は現在解いている問題の上にくるようにするのがポイントです。このやり方で試験中にパニックになることはありません。

最後に、TOEIC は、その日の集中力の差で30～100点ぐらいスコアが変わることがあるテストです。スコアに一喜一憂してしまい、TOEIC 対策に何年もかけて、結局、英語力が全く伸びていないということにならないでほしいと思います。私は、初めて TOEIC を受験する人や点数が伸び悩んでいる人には、TOEIC テストの内容を分析することで効果的にスコアアップに繋がるヒントのようなものがあるように思います。上記の TOEIC 受験のコツを、それぞれの目的を達成する為のガイドとして使っていただくと幸いです。